

市交際費の支出状況



令和5年3月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	1	5,000
	累計	59	183,800
見舞い	今月分	1	10,000
	累計	3	30,000
御祝	今月分	1	10,000
	累計	11	101,037
賛助	今月分	0	0
	累計	2	8,640
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	1	8,602
	累計	45	96,656
会費	今月分	0	0
	累計	11	43,000
その他	今月分	0	0
	累計	0	0
合計	今月分	4	33,602
	累計	131	463,133

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係  
☎75-2115

「ひとりじゃなら」

最近、「自己責任」という言葉に心が沈みます。自分の正義、考えをふりかざし、ネットなどで「こうなったのは、あなたの努力が足りなかったから」「自業自得だ」など、批判する人が増えてきたように感じます。

人に対して寛容な時代から、自分の価値観と違う人との対立が先鋭化してきています。価値観の多様化が叫ばれている現代で、自己責任論、さらには格差容認論まで出てきていることに肌寒ささえ感じます。このような風潮が、周囲の人や福祉に頼るのは恥だと思ひ込み、ボロボロになるまで助けを求めない人が生まれてくる原因のひとつにもなっているのではないのでしょうか。

tomoniki

その波は、自分ひとりではその環境を変えることが難しい子どもにも押し寄せてきています。問題になっている貧困やひきこもり、ヤングケアラーなど生活の困難は、本人や家庭環境の問題だけではなく、社会構造による影響も大きいのではないのでしょうか。

決して、自己責任と突き放すのではなく、その人の悩みや生きづらさに寄り添い、その人の心を聴いてみましょう。無関心であったり、見て見ぬふりをしたりせず「あなたは、ひとりじゃないよ」「ひとりで抱え込まず、まわりの人に頼ってもいいんだよ」と伝えてみませんか。あなたのその一言で救われる人が必ずいるはずですよ。「遠くの親戚より近くの他人」「困った時は、お互いさま」の心で、だれも孤立させない社会になることを願っています。

社会教育指導員

Message for citizen



市長コラム



桜花天地に輝く春の息吹が美しい卯月から、端午の節句の阜月を迎えます。コロナ禍も県内では収まる兆しが見えますが、連休明けに再びピークとの予測もあり、注意喚起は必要です。

「健康はすべての基本です」と先日健康推進員委嘱状交付の際に挨拶しました。特定健診や乳幼児健診等の事業を手伝い、健康づくりに尽力下さるのが健康推進員の皆さんです。

健康について、皆さんはどのように取り組まれていますか。

令和3年度の特定健診受診率全国ランキング速報値で多久市は再び全国2位になったとのこと。市民の皆さんのご協力と関係者の方々のご支援の賜物です。

健診結果の数値でみると、佐賀県や多久市は見逃しせぬ課題があると言わねばなりません。血圧、血糖値、内臓脂肪などで、改善を要する人が多いのです。いわゆるメタボの課題です。

健康はすべての基本 三大メタボがん克服へ

市長 横尾 俊彦

4月20日記

佐賀大学医学部長、附属病院長にお会いしたら「前立腺がんが佐賀県はワースト1位。改善したい」と語られました。前立腺がんは血液によるPSA検査で兆候が分かり、早期発見が可能です。にもかかわらず増えていると危惧されています。同大学ではこれに肝がん、すい臓がんを加えて「三大メタボがん」として予防や早期発見を呼びかけておられます。この3つについて近年のデータでは佐賀県は全国ワースト1位か2位です。

啓発と行動が必要です。50歳以上の男性の皆さんはPSA検査を受けることが重要です。

市では、このような要注意項目等を注視し、生活習慣や食事等の改善を啓発しています。無理なく自分のペースで、改善努力の継続が大切です。

健診や生活習慣改善で自身の健康長寿を育みながら、煌めく春を謳歌したいものです。